

∴
知財座敷童（ざしきわらし）語り部
∴
『福島県と福島県発明協会の取組』

福島県知財総合支援窓口
事業責任者 野地義幸

福島県および福島県発明協会の取組について、簡潔に御案内します。

1.はじめに

福島県では、2021年に「ふくしま知財戦略協議会」を創設し、2022年に「福島県知財戦略推進計画」を策定して、現在、「知財立県ふくしま」の創造を目指して各種の取組を積極的に行っています。

2.ふくしま知財戦略協議会

令和3年（2021年）8月4日、福島県の呼びかけにより創設し、産学官金言など多くのステークホルダーを巻き込んで設置している。福島県と福島県発明協会、産業支援機関はもとより、3つの工業関係団体を通じて県内の製造業や情報通信産業、市長会・町村会を通じて県内全59市町村が参画しています。

3.福島県知財戦略推進計画

令和4年（2022年）2月8日、「ふくしま知財戦略協議会」において策定。最終的な目標とKPIを共有し、各関係機関等の取組を具体的に規定して役割を明確化している。この中核組織として、福島県と（一社）福島県発明協会が「ふくしま知財戦略支援センター」を設置し、本推進計画を推進しています。

基本方針としては、「Ⅰ 総合知財戦略の推進」、「Ⅱ 活用促進」、「Ⅲ 意識啓発・人材育成」、「Ⅳ 支援体制の構築」の4つを柱としています。

4.ふくしま知財支援連絡会

毎月一回、12の県内支援機関が参集し、福島県知財戦略推進計画の実務的協議の場として開催しています。個別案件の具体的な支援について、意見交換すると共に、各機関が連携することで総合的な支援も目指しています。

5.最後に

多くの関係者が連携し、進化と挑戦を継続し、各企業に寄り添った支援を念頭に、実績をひとつ、ひとつ積み上げ、共創をテーマに知財戦略における「福島モデル」を築いて参ります。

※配信元：東北地域知財戦略本部事務局（東北経済産業局知的財産室）

※本コラムの無断転載を禁じます。